

エコアクション21

環境活動レポート

丸安運輸株式会社

平成27年 2月 25日作成

平成27年 4月 11日改定

(実施期間平成26年11月 ~平成27年 1月)

目 次

1. 環境方針
2. 組織の概要
 - (1) 事業者名及び代表者名
 - (2) 所在地
 - (3) 環境保全関係責任者及び連絡先
 - (4) 事業活動
 - (5) 事業規模
 - (6) 産業廃棄物収集運搬実績
 - (7) 許認可内容
 - (8) 所有設備
 - (9) 業務工程図
 - (10) 貨物運送及び産業廃棄物収集運搬料金
 - (11) 対象範囲
 - (12) 組織図
3. 環境目標
4. 環境活動計画
5. 環境目標の実績
6. 環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組内容
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価結果と違反、訴訟等の有無
8. 代表者の全体評価と見直し結果

環 境 方 針

<環境理念>

私たちは、貨物運送及び産業廃棄物収集運搬の事業活動を通じて地球環境を守るために出来るだけ環境負荷の低減に努め、地球温暖化防止と循環型社会の実現に向けた活動を自主的、積極的に継続して取り組みます。

<環境方針>

1. 環境関連法規及び当社が同意する要求事項を遵守します。
2. 全ての事業活動において、次の事項について具体的な環境目標・環境活動計画を定め、実施します。
 - ① エコドライブを推進し、二酸化炭素排出量を削減します。
 - ② 省エネルギーに取組、電力使用量を削減します。
 - ③ 分別の徹底・リサイクルの推進により廃棄物排出量を削減します。
 - ④ 節水により水使用量を削減します。
 - ⑤ 事務用品等のグリーン購入に努めます。
 - ⑥ 貨物運送、産業廃棄物収集運搬での安全・エコ活動を推進します。
 - ⑦ 社会貢献活動を積極的に行います。
3. この方針を全社員に周知・徹底し、環境経営システムの継続的な改善を進めます。

平成26年10月 1日 制定

丸安運輸株式会社

代表取締役

青上 勝征

1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者

丸安運輸株式会社
代表取締役 青山 勝征

(2) 所在地

本社 : 愛知県名古屋市南区港東通2-18
TEL 052-611-1201 FAX 052-611-5011
昭和町営業所 : 愛知県名古屋市港区昭和町19
TEL 052-611-1453 FAX 052-613-3936

(3) 環境保全責任者連絡先

環境保全責任者 : 青山勝征
本社 TEL 052-611-1201 FAX 052-611-5011
E-mail : maruyasu@asua.net

(4) 事業活動の内容

一般貨物運送事業、産業廃棄物収集運搬業

(5) 事業規模

法人設立 : 昭和26年11月21日
資本金 : 2,500万円
売上 : 4億9千万円 (平成26年9月期)
従業員 : 55名 (平成26年10月現在)
本社 : 敷地面積 209m² (床面積 311m²)
昭和町営業所 : 敷地面積 6,586m² (床面積 165m²)

(6) 産業廃棄物収集運搬実績

産業廃棄物収集運搬量 6,936 t (平成25年度)
特別管理産業廃棄物収集運搬量 1 t (平成25年度)

(7) 許認可内容

貨物運送業 名陸自第5159号 利用運送事業 名陸自 貨-265号

産業廃棄物収集運搬業（積替保管なし）

自治体	許可年月日	許可期限	許可番号	許可品目
愛知県	26.8.31	31.8.30	2300001380	燃え殻・汚泥・廃プラ・紙くず・ 木くず・繊維くず・金属くず・ ガラ陶・がれき類・鉍さい・ ダスト類・廃酸・廃アルカリ・ 廃油・動植物性残さ・ゴムくず
岐阜県	23.1.31	28.1.30	2100001380	燃え殻・汚泥・廃プラ・紙くず・ 木くず・繊維くず・金属くず・ ガラ陶・がれき類・鉍さい・ ダスト類・廃酸・廃アルカリ・ 廃油・動植物性残さ・ゴムくず
三重県	23.9.12	28.8.4	2400001380	汚泥・廃プラ・紙くず・木くず・ 繊維くず・ゴムくず・金属くず・ ガラ陶・鉍さい・がれき類
静岡県	23.2.23	28.2.22	2201001380	汚泥・廃プラ・金属くず・ ガラ陶・鉍さい
富山県	26.6.18	31.6.17	1606001380	廃プラ・金属くず・ガラ陶・ 鉍さい
愛知県 (特管)	26.6.18	31.6.17	2350001380	特定有害ダスト類 (カドミウム・鉛・6価クロム)

保有設備

大型ウイング	7台	大型ダンプ	8台
大型パッカー	9台	中型ウイング	2台
中型ユニック	3台	中型パッカー	6台
中型フックロール	3台	中型平ボディ	1台
2 t アルミバン	3台	小型フックロール	1台
1 t バン	5台	軽バン	1台
		合計	49台

(8) 産業廃棄物収集運搬工程図

排出事業者→収集依頼→配車→事業所内積込→指定中間処理場へ搬入

(10) 貨物運送料金及び産業廃棄物収集運搬料金 車輛基本単価

走行距離・作業内容（積込作業・納品等降し作業）・待機の有無等で料金を決定致しますが、基本は下記時間単価がベースになります。

軽バン及び1 t バン	2,500～3,200円/時
2 t バン	3,200～3,750円/時
4 t ウイング	3,750～4,500円/時
4 t フック・ユニック	3,750～5,000円/時
大型パッカー	4,500～5,500円/時
大型ダンプ	4,500～5,625円/時
増トンウイング	5,625～6,250円/時

見積のご依頼は、当社運輸部までご連絡下さい。

電話052-611-1453

Mail : maruyasu-unyu@asua.net

(11) 対象範囲

対象組織 : 全組織

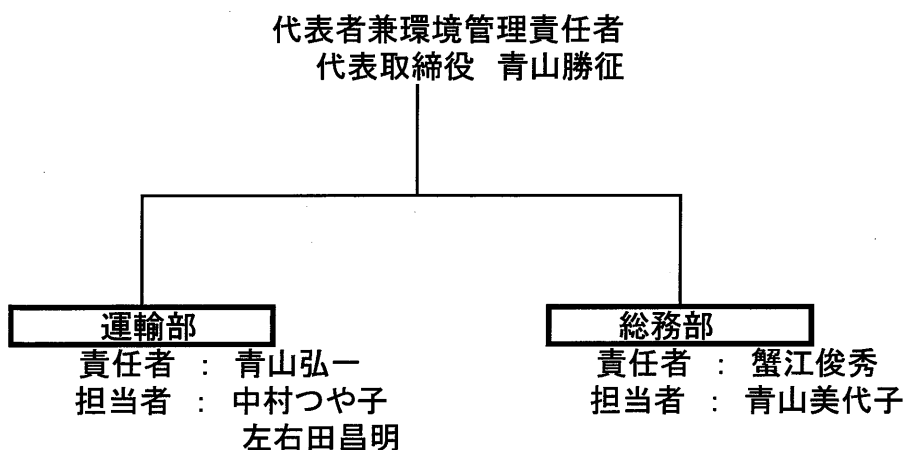
対象活動 : 事業活動の内容

(12) EA21組織図

作成日 : 平成26年10月 1日
作成者 : 青山勝征

(EA21実施体制)

総数 55名



	担当者	役割・責任・権限
代表者兼 環境管理責任者	青山勝征	・環境方針の策定、設備・費用等の準備。 ・全体の評価と見直し。 ・環境経営システムを構築し運用する。 ・外部からの苦情等の受付と必要な対応及び結果を記録する。 ・環境活動レポートを作成する。 ・環境関連文書及び記録の作成・管理等
部門長		・EA21取組実施 ・実施状況確認・記録・提出
全従業員		・環境方針の理解と環境への取組の重要性の理解 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

作成日：平成26年10月 1日
作成者：青山勝征

3. 環境目標

平成25年度(平成25年10月～平成26年9月)実績を基準年度として以下に環境負荷の削減目標を示します。

環境目標	単位	平成25年度 (25.10～26.9) 基準年度	平成26年度 (26.10～27.9) 1%削減	平成27年度 (27.10～28.9)	平成28年度 (28.10～29.9)
二酸化炭素排出量 の削減	二酸化炭素排出量 の削減	kg-CO2	1,282,100	1,269,279	1,256,586
	電力の使用量削減	kg-CO2/百万円	2,601	2,549	2,523
廃棄物の排出量 の削減削減	軽油の使用量削減	kwh	41,633	40,805	40,397
	一般廃棄物排出量削減	L	478,000	468,488	463,803
水使用量の削減	産業廃棄物排出量削減	kg	300	294	291
	水使用量の削減	kg	3,786	3,711	3,674
グリーン購入の推進	m3	733	726	719	712
運送・運搬の環境配慮	グリーン購入の推進	品目数	データ無し	目標設定・運用	運用
社会貢献活動の推進	安全・エコ活動の推進	—	推進	推進	推進
	車庫周辺清掃の実施	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年

1) 購入電力の二酸化炭素排出係数は、中部電力の平成24年度係数0.516kg-CO2/kwh

2) 有害化学物質の使用はありません。

3) 都市ガスと灯油は発生比率が低く(1%未満)、またCNG(圧縮都市ガス)はテスト用のため目標設定しない。

作成日：平成26年10月1日

作成者：青山勝征

4. 環境活動計画（平成26年11月～平成27年9月）

(1) 二酸化炭素排出量の削減取組

① 軽油使用量の削減

- ・ デジタコの活用によるエコドライブ活動
- ・ 車検点検・整備の励行、空気圧の管理
- ・ 不要物を積載しない

② 電気使用量の削減

- ・ 昼休みの消灯、不要時の消灯
- ・ ブラインドや日よけの活用
- ・ 帰宅時は、パソコン・プリンターは電源をOFFにし、コピー機は待機モードにする。
- ・ 空調は、夏27度、冬23度に設定する。

(2) 廃棄物の削減・リサイクルの取組

一般廃棄物

- ・ 資源ゴミと可燃ごみの分別の徹底
- ・ 裏紙の使用
- ・ 私物ゴミの持ち帰り運動

産業廃棄物

- ・ 物流資材を丁寧に扱う
- ・ 分別の徹底によりリサイクルの推進

(3) 水使用量の削減への取組

- ・ 水の流しっぱなし作業をしない
- ・ ストッパー付ガンで洗車する

(4) グリーン購入の促進

- ・ エコマーク事務用品の調査及び優先購入

(5) 運送・運搬の環境配慮（安全・エコ活動の推進）

- ・ エコドライブ活動月度会議開催
- ・ 車両無事故運動、燃費低減活動

(6) 社会貢献活動等

- ・ 会社周辺の清掃活動

5. 環境目標の実績

		基準年	目標	実績		
環境負荷		平成25年11～ 平成26年1月 3ヶ月実績	平成26年11～ 平成27年1月 1%削減	平成26年11～ 平成27年1月 3ヶ月実績	達成度 増減 %	結果 ○△×
二酸化炭素排出量の削減 kg-CO2(kg-CO2/百万円)		259,292 521	256,699 515	275,059 552	2.1% 13.4%	○ ○
エ ネ ル ギ ー 量	電気使用量(kwh)	9,960	9,860	9,914	▲0.5%	△
	軽油使用量(L)	104,000	102,960	100,680	0.02%	○
一般廃棄物排出量(kg)		78	77	75	3.8%	○
産業廃棄物(kg)		1,520	1,505	1,530	▲1.7%	×
水の使用量(m3)		236	234	291	▲24.4%	×
グリーン購入の推進(品目数)		データ無	調査・推進	情報収集	実施	○
運送・運搬の環境配慮		—	安全・エコ活動の推進	安全・エコ活動実施	実施	○
会社周辺の清掃活動 (2回/年)		1回/6ヶ月	1回/6ヶ月	1回/6ヶ月	100%	○

※平成26年12月、洗車機の故障により水漏れが発生。

※産業廃棄物は、平成26年12月に汚泥とエレメントを搬出したため増加。

○

6. 環境活動計画の取り組み結果と評価、今後の取組

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

環境活動計画	結果	評価と次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減		
軽油使用量の削減	目標達成	取組が概ね良好でした、引き続き継続。
デジタコの活用によるエコドライブ活動	○	デジタコの点数チェックのみ、今後は急加速・急減速もチェック
車両点検・整備の励行、空気圧	◎	オイル交換・エレメント交換は問題無、今後も継続
不要物を積載しない	○	雑誌類がダッシュボード周辺で良く見つかる。
電気使用量の削減	目標未達成	従業員数・車両数の増加により未達、年度で管理。
昼休みの消灯、不要時の消灯	◎	概ねこまめな消灯が来ている
ブラインドや日よけの活用	◎	まめにブラインドを調整している
帰宅時は、パソコン・プリンターは電源をOFFにし、コピー機は待機モードに。	◎	全台必ず消している。
空調は、夏は27度、冬は23度	○	冷え込む日は、多少温度を高めにしてきた。
廃棄物の削減・リサイクルの取組		
一般廃棄物	目標達成	取組は概ね良好でした、引き続き継続。
資源ゴミと可燃ゴミの分別の徹底	△	ドライバーの弁当ゴミが多く、後からの分別は難しい
裏紙の使用	◎	メモ用紙、配布文章含め対応来ている
私物ゴミの持ち帰り運動	○	一部の方はまだ車庫のゴミ箱に入れて帰る
産業廃棄物	目標未達成	汚泥とエレメントを廃棄したので増加。年度で管理。
物流資材を丁寧に扱い再使用する	○	倉庫では、かなり来ているは車庫ではあまり来ず
分別の徹底によりリサイクルの推進	○	混合ゴミ扱いになる物が多い。
水使用量の削減	目標未達成	洗車機の故障により増加した。年度で管理。
洗車はスッパ付ガンを使用する。	◎	全員使用している。
水の出しっぱなし作業をしない	◎	ムダな出しっぱなしは無かった
グリーン購入の促進	目標達成	カタログを確認して発注出来た。引き続き継続。
エコマーク事務用品の優先購入	◎	カタログにて環境に良い製品を優先的に購入した。
運送・収集運搬の環境配慮	達成	エコドライブミーティング、KY活動は出来た。今後も継続。
社会貢献活動	目標達成	予定通り実施した。今後も継続。
会社周辺の清掃活動	◎	環境月間(6)と大気汚染防止月間(12)に実施

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価結果と違反、訴訟等の有無

評価日:平成27年 2月10日

評価者:青山勝征

適用法令等	該当する規制	遵守項目	遵守評価
廃棄物処理法	産業廃棄物の収集運搬基準	書面の備付け・表示	○
	産業廃棄物の適正処理(処理業者への委託)	委託契約書	
	産業廃棄物管理表(マニフェスト)交付	5年間保存	
	管理票交付状況の県知事への年度報告	管理票交付状況報告書	
道路運送車両法	所有車両の法定点検(車検)	車両分解整備記録簿	○
	所有車両の定期点検(3ヶ月点検)	整備記録簿	
	所有車両の日常点検	点検シート	
道路交通法	積載重量の遵守	積載重量	○
	飲酒運転の禁止	アルコールチェック	
貨物自動車運送事業法	一般貨物自動車運送事業	緑ナンバー	○
自動車NOx-PM法	型式規制(排出基準)適合車	車検証	○
消防法	危険物取扱者の届出、施設の定期点検	届出及び点検記録	○
浄化槽法	保守点検基準の遵守	点検結果	○
愛知県民の生活環境保全条例	アトリングストップの社員教育義務	会議にて説明	○
	500㎡以上駐車場利用者へのアトリングストップ周知	看板設置	○
家電リサイクル法	使用済特定家電の引取業者への適正な引渡し	リサイクル料金の支払い	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の引取業者への適正な引渡し	リサイクル券購入	○
フロン回収破壊法	業務用エアコンの修理・廃棄時は登録業者に委託	工程管理票	○
水質汚濁防止法	洗車時の油分漏洩防止のため油水分離設備の設置	事故時、監督官庁への報告	○

環境関連法規への違反行為はありません。 また、関係する当局から違反。訴訟等の指摘は、過去3年間ありません。

8. 代表者の全体評価と見直し結果

平成27年 2月25日
代表者：青山勝征

1. 見直しに必要な情報	
・環境目標の達成状況	
・環境活動計画の実施及び運用結果	
・環境法令等の遵守状況	
・外部からの環境に関する苦情や要望等	
・前回の指示への取組結果	
2. 変更の必要性	
環境方針	不要 ・ 要
環境目標	不要 ・ 要
環境活動計画	不要 ・ 要
環境経営システム	不要 ・ 要
[変更の理由]	
3. 評価結果及び指示事項	
運用実績が3ヶ月と短く、環境経営システムの効果は未定だが、立ち上がりは順調であり従業員の環境に関する理解は確実に深まっている。	
軽油や電力以外は、少量の使用量なのでちょっとしたトラブルでマイナスになる可能性があるため、年度で評価したい。	